



■地域公共交通計画

公共交通網の整備促進のため「地域公共交通会議」について国・県の動向や他団体の先行事例等を検討・協議する中で、道路運送法を根拠法令とする『地域公共交通会議』と、地域公共交通活性化再生法を根拠法令とする『法定協議会』の機能を併せ持つことにより、各種施策の効率性や実効性を高めることが望ましいことが分かりました。

公共交通は、経済活動や住民生活を支える重要な社会基盤であります。本町の将来を支える交通インフラの整備を着実に進めるための「地域公共交通計画」を策定したいと考えています。



■ふるさと応援寄附金

「ふるさと応援寄附金」の2月末時点における寄付の状況は、件数で3,996件、金額では4,067万7千円となっております。今年度は、インターネットサイト等のブラッシュアップや返礼品の拡充などに努めるとともに、寄付いただいた方に御礼のパンフレットを送付するなど、本町の紹介・PRに取り組みましたが、前年度実績額の約70%にとどまっています。今後の取組として、返礼品の開発・登録や受付サイトの拡大、クラウドファンディング方式の導入等を検討し、事業の推進を図ります。



▲返礼品：「ToiToi」さんのグラノーラ3種セット

■県道豆田稲築線（九郎丸工区）

県事業で取り組んでいる県道豆田稲築線（九郎丸工区）については、事業着手から4年目を迎え福岡県飯塚県土整備事務所において、道路整備に必要な用地等について地権者との協議が進められているところであります。移転補償の対象となった土地の代替地に本町の遊休地を活用するなど、桂川町としても地元協議等の支援を行い、早期の実現に向けて事業の推進を図っているところです。



▲県道豆田稲築線（九郎丸工区）の一部